

産科婦人科学

教授	齋藤 滋
教授(前)	泉 陸一
講師	山川 義正
講師	藤村 弘
講師(前)	伏木 利子
助手	酒井 正恭
助手	種部 隆雄
助手	長谷川 徹彦
助手	日高 敏彦
助手	道又 博
助手	津田

◆ 著 書

- 1) 齋藤 滋, 森山郁子: 妊娠偶発合併症—感染症—。「新女性医学大系23, 異常妊娠」武谷雄二他編, 235-238, 中山書店, 東京・
- 2) 齋藤 滋: 母子感染。「新女性医学大系9, 女性と予防医学」武谷雄二他編, 173-187, 中山書店, 東京・

◆ 原 著

- 1) 脇 博樹, 伏木 弘, 泉 陸一: 悪性胚細胞腫瘍に用いられる抗癌剤の卵巣毒性に関する研究。日本産科婦人科学会雑誌 49: 327-333, 1998.
- 2) Yamada Y., Saito S., and Morikawa H.: Hepatocyte Growth Factor in Human Breast Milk. *Am. J. Reprod. Immunol.* 40:112-120, 1998.
- 3) 原田直哉, 齋藤 滋, 梅影秀史, 山崎峰夫, 森川 肇, 高橋幸博, 吉岡 章: 早産における絨毛羊膜炎および母体のステロイド剤投与が児に与える影響についての検討。日本新生児学会雑誌 34: 1-7, 1998.
- 4) 伏木 弘, 日高隆雄, 堀 慎一, 藤村正樹, 山川義寛, 泉 陸一: ノードマウスを用いた子宮体癌に対するIrinotecan (CPT-11) およびPaclitaxel (TXL) を含む新しい多剤化学療法の開発。癌と化学療法 25: 75-78, 1998.
- 5) 池田正典, 野田起一郎, 日浦昌道, 玉舎輝彦, 尾崎公巳, 波多江正紀, 小澤 満, 山邊 徹, 田中憲一, 泉 陸一, 岡田弘二, 荻田幸雄, 星合 昊: 子宮頸癌に対するEtoposideの21日間連日経口投与による後期第II相試験。癌と化学療法 25: 2249-2257, 1998.
- 6) Makita K., Shimoyama T., Sakurai Y., Yagi H., Matsumoto M., Narita N., Sakamoto Y.,

Saito S., Ikeda Y., Suzuki M., Titani K., and Fujimura Y.: Placental ecto-ATP diphosphohydrolase: its structural feature distinct from CD39, localization and inhibition on shear-induced platelet aggregation. *Int. J. Hematol.* 68:297-310,1998.

- 7) Umekage H., Saito S., and Morikawa H.: Enhancement by stem cell factor of interleukin-2 (IL-2)-induced DNA synthesis in human decidual CD16-CD56bright natural killer cells mediated by increased expression of the IL-2 receptor α chain. *J. Reprod. Immunol.* 40:1-24,1998.
- 8) Ishizaka S., Kimoto M., Kanda S., and Saito S.: Augmentation natural killer cell activity in mice by oral administration of transforming growth factor- β . *Immunology* 95:460-465, 1998.
- 9) 原田直哉, 齋藤 滋, 森川 肇: 子宮頸管粘液中の癌胎児性フィブロネクチンおよび顆粒球エラストラーゼ測定による切迫早産妊婦の予後判定。産婦人科の世界 50: 953-957, 1998.
- 10) 岡井康二, 齋藤 滋, 石坂重昭: 肝硬変における抗体産生の異常亢進とサイトカイン・ネットワークについて。第12回近畿肝臓病研究会論文集 22-26, 1998.
- 11) 長谷川 徹, 新居 隆, 泉 陸一: 超音波骨量測定法による踵骨骨密度の年間変化率に及ぼす背景因子の検討。日本産科婦人科学会雑誌 50: 340-346, 1998.
- 12) 伏木 弘, 日高隆雄, 堀 慎一, 藤村正樹, 山川義寛, 泉 陸一: ノードマウスを用いた表層上皮性・間質性卵巣癌に対するIrinotecan (CPT-11) およびPaclitaxel (TXL) を含む多剤化学療法の開発。癌と化学療法。25: 731-734, 1998.
- 13) 伏木 弘, 今井敏啓, 家城匡博, 齋藤 滋: 子宮頸部扁平上皮癌におけるサイトケラチン19フラグメント(シフラ)測定の意義について。産婦人科治療 77: 684-686, 1998.
- 14) 齋藤 滋: 妊娠母体および胎児・新生児の免疫特性と母子感染防御対策。日本産科婦人科学会雑誌 50: 538-548, 1998.

◆ 症例報告

- 1) Yamakawa Y., Yuuki H., and Izumi R.: Advanced cervical cancer complicated by previous LeFort operation. *Obstetrics and Gynecology* 91:867, 1998.

- 2) 結城浩良, 山川義寛, 高橋美貴恵, 前田宜延: 閉経後結核性子宮留膿症の1例. 日本臨床細胞学会雑誌 37: 56-60, 1998.

◆ 総 説

- 1) 斎藤 滋: 胎盤の物質輸送と通過性-IgGの経胎盤輸送. 周産期医学 28: 735-739, 1998.
2) 斎藤 滋: 周産期の生理学-免疫系の変化-. ペリネイタルケア 17: 631-638, 1998.
3) 斎藤 滋, 赤田 忍, 吉田剛祥, 佐道俊幸, 森川 肇: 婦人科癌に対するPBST併用化学療法. 産婦人科の実際 47: 61-68, 1998.
4) 長谷川 徹, 新居 隆: 中高年女性の反復超音波骨量測定による骨量減少の検診. 産婦人科の世界 50: 881-887, 1998.
5) 伏木 弘, 泉 陸一: 子宮頸癌-化学療法の最近の傾向-. 産婦人科の実際 47: 223-232, 1998.

◆ その他

- 1) 斎藤 滋: 炎症マーカーの利用・2 臨床婦人科産科 52: 692-693, 1998.
2) 原田直哉, 斎藤 滋, 森川 肇: 絨毛羊膜炎や出生前母体へのステロイド剤の投与が新生児に与える影響について. 産婦人科の実際 47: 659-666, 1998.
3) 斎藤 滋: 常位胎盤早期剥離とアポトーシス. 産婦人科の実際 47: 1153-1160, 1998.
4) 斎藤 滋: 妊娠とTORCH感染症. 「今日の治療指針40版」多賀須幸男, 尾形悦郎編, 729, 医学書院, 東京.

◆ 学会報告

- 1) 斎藤 滋: 産科婦人科領域におけるサイトカイン. 第26回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会特別講演, 1998, 6, 福井.
2) 斎藤 滋: 富山県産婦人科の先生方への提案. 日産婦富山地方部会・富山県産婦人科医会共催特別講演, 1998, 6, 富山.
3) Saito S.: Cytokine network in the human decidua. 7th International Congress of Reproductive Immunology (Invited speaker), 1998, 11, New Delhi.
4) 斎藤 滋: 母子免疫から見た母子感染の特徴. 第13回日本生殖免疫学会ランチョンセミナー, 1998, 12, 神戸.
5) Saito S., Umekage H., Skamoto Y., and Morikawa H.: Preeclampsia is a Th1-type immune condition. 11th World Congress of International Society for the Study of Hypertension in Pregnancy (Symposium),

1998, 10, Kobe.

- 6) 斎藤 滋: 妊娠母体および胎児・新生児の免疫特性と母子感染防御対策. 第50回日本産科婦人科学会総会シンポジウム, 1998, 4, 仙台.
7) Saito S.: Effect of cytokines on trophoblast function. 4th Conference of the International Federation of Placental Associations (Workshop), 1998, 10, Tokyo.
8) 伏木 弘, 日高隆雄, 片岡 健, 藤村正樹, 山川義寛, 泉 陸一: 子宮頸部扁平上皮癌におけるサイトケラチン19フラグメント(シフラ)測定の意義について. 第2回婦人科遺伝子・腫瘍マーカー学会, 1998, 2, 東京.
9) 藤村正樹, 片岡 健, 日高隆雄, 山川義寛, 伏木 弘, 泉 陸一: 卵巣明細胞腺癌におけるエストロゲンレセプター発現の検討. 第50回日本産科婦人科学会総会, 1998, 4, 仙台.
10) 長谷川 徹, 泉 陸一, 新居 隆: 超音波骨量測定法による女性踵骨骨量動態の経時的検討. 第50回日本産科婦人科学会学術講演会, 1998, 4, 仙台.
11) 伏木 弘, 藤村正樹, 山川義寛, 泉 陸一: 超音波断層法を用いた若年女性約1万人に対する卵巣腫瘍集団検診の試み. 第50回日本産科婦人科学会総会, 1998, 4, 仙台.
12) 阪本義晴, 山崎峰夫, 斎藤 滋, 中山雅博, 山下 健, 古川直人, 榊田充彦, 森川 肇: 妊娠皮下脂肪組織ならびに胎盤におけるleptin産生に関する検討. 第50回日本産科婦人科学会総会, 1998, 4, 仙台.
13) 山田嘉彦, 斎藤 滋, 森川 肇: 母乳における肝細胞増殖因子(HGF)の産生部位と生理作用についての検討. 第50回日本産科婦人科学会総会, 1998, 4, 仙台.
14) 佐道俊幸, 斎藤 滋, 森川 肇: 骨形成過程におけるエストロゲンとIGF-1の関連性について-骨髄stromal cellを用いたin vitro骨形成モデルでの検討. 第50回日本産科婦人科学会総会, 1998, 4, 仙台.
15) 寺西明子, 赤田 忍, 斎藤 滋, 森川 肇: 卵巣癌化学療法時の単球と好中球上の接着分子動態についての検討. 第50回日本産科婦人科学会総会, 1998, 4, 仙台.
16) 赤田 忍, 斎藤 滋, 寺西明子, 森川 肇: 婦人科癌症例に対する末梢血幹細胞移植併用大量化学療法に関する検討. 第50回日本産科婦人科学会総会, 1998, 4, 仙台.

- 17) 梅影秀史, 斎藤 滋, 茨城 保, 阪本義晴, 原田直哉, 佐道俊幸, 山崎峰夫, 森川 肇: HELLP症候群における母児の周産期予後に関する因子についての検討. 第50回日本産科婦人科学会総会, 1998, 4, 仙台.
- 18) 原田直哉, 斎藤 滋, 茨城 保, 梅影秀史, 佐道俊幸, 山田嘉彦, 山崎峰夫, 森川 肇: 子宮頸管粘液中の胎児フィブロネクチンおよび顆粒球エラストラーゼ測定による切迫早産妊婦の予後判定. 第50回日本産科婦人科学会総会, 1998, 4, 仙台.
- 19) 堂下真樹子, 日高隆雄, 藤村正樹, 山川義寛, 斎藤 滋: 長期の寛解が得られた後に再発した卵巣癌の1例-Taxol奏功例-. 日本産科婦人科学会富山地方部会例会, 1998, 4, 富山.
- 20) 脇 博樹, 佐々木 泰, 新居 隆: 間質部妊娠MTX療法の1例. 日本産科婦人科学会富山地方部会例会, 1998, 4, 富山.
- 21) 日高隆雄, 柳楽清文, 堂下真樹子, 藤村正樹, 山川義寛, 斎藤 滋: リザーバー留置術後に仮性動脈瘤を併発した外陰癌の一例. 第11回富山癌治療懇話会, 1998, 5, 富山.
- 22) 道又敏彦, 津田 博, 斎藤 滋: 体外受精における卵巣過剰刺激症候群(OHSS)の予防法としてのprolonged coasting法の有用性について. 北陸GnRH研究会, 1998, 5, 金沢.
- 23) 道又敏彦, 津田 博, 斎藤 滋: 体外受精における卵巣過剰刺激症候群(OHSS)の予防法としてのprolonged coasting法の有用性について. 日本不妊学会北陸支部学術総会, 1998, 6, 金沢.
- 24) 津田 博, 道又 敏彦, 斎藤 滋: prolonged coasting法を行うも重症OHSSを発症し腹水濾過濃縮再静注法を行った1例. 第26回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会, 1998, 6, 福井.
- 25) 堂下真樹子, 日高隆雄, 藤村正樹, 山川義寛, 泉 陸一, 斎藤 滋: 晩期再発卵巣癌の一例. 第26回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会, 1998, 6, 福井.
- 26) 佐々木 泰, 高木紀美代, 種部恭子, 酒井正利, 斎藤 滋: Wilson病合併妊娠の一例. 第26回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会, 1998, 6, 福井.
- 27) 堀 慎一, 釣谷晋二, 赤川直次, 阪部江里子, 津田 博, 長谷川 徹, 酒井正利, 斎藤 滋: 経皮的腎瘻造設術を施行した急性腎盂腎炎合併妊娠の一例. 第26回日本産科婦人科学会北陸連合地方部会, 1998, 6, 福井.
- 28) 佐々木 泰, 山岸直子, 種部恭子, 酒井正利, 斎藤 滋: 肥大型閉塞性心筋症合併妊娠の2例. 日本産科婦人科学会富山地方部会例会, 1998, 6, 富山.
- 29) 日高隆雄, 柳楽清文, 堂下真樹子, 藤村正樹, 山川義寛, 斎藤 滋: 婦人科癌におけるPBSCT併用大量化学療法. 第3回富山造血幹細胞移植懇話会, 1998, 7, 富山.
- 30) 藤村正樹, 片岡 健, 日高隆雄, 山川義寛, 斎藤 滋: 卵巣明細胞腺癌におけるEstrogen・Progesterone Receptorの発現およびEstrogen感受性に関する検討. 第27回日本婦人科病理・コルポスコピー学会, 1998, 7, 大阪.
- 31) 原田直哉, 斎藤 滋, 阪本義晴, 梅影秀史, 佐道俊幸, 山下 健, 山崎峰夫, 森川 肇: 切迫早産妊婦の子宮頸管分泌液中のフィブロネクチンと顆粒球エラストラーゼ測定の意義. 第34回日本新生児学会, 1998, 7, 福岡.
- 32) 長谷川 徹, 新居 隆, 泉 陸一, 斎藤 滋: 婦人科入院患者の骨量推移に関する検討. 第22回日本産科婦人科栄養・代謝研究会, 1998, 8, 大宮.
- 33) 日高隆雄, 山川義寛, 藤村正樹, 斎藤 滋: 婦人科手術後に発症した血栓症5例の臨床的検討. 第21回日本血栓止血学会学会, 1998, 9, 富山.
- 34) 酒井正利, 佐々木 泰, 種部恭子, 斎藤 滋: 予防的抗凝固療法が奏効したProtein S欠乏症合併妊娠の一例. 第21回日本血栓止血学会, 1998, 9, 富山.
- 35) 長谷川 徹, 山川義寛, 藤村正樹, 日高隆雄, 道又敏彦, 津田 博, 斎藤 滋: 当科における骨量減少者の長期治療成績. 第9回婦人科骨粗鬆症研究会, 1998, 10, 東京.
- 36) Tanebe K, Nishijo H, Muraguchi A, Saito S., and Ono T.: Characteristic changes of endo-genous IL-1beta and IL-2 during chronic stress in different hypothalamic areas; Possible role in regulation of GnRH gene expression. The 4th international congress of neuroendo-crinology, 1998, 10, Kokura, Japan.
- 37) 藤村正樹, 堂下真樹子, 日高隆雄, 片岡 健, 山川義寛, 伏木 弘, 泉 陸一: 外陰癌に対する動注化学療法を用いた治療の試み. 第36回日本癌治療学会, 1998, 8, 福岡.
- 38) 日高隆雄, 堂下真樹子, 片岡 健, 藤村正樹, 山川義寛, 伏木 弘, 泉 陸一, 斎藤 滋: 再発卵巣癌に対するPaclitaxelを含む化学療法の効果.

第36回日本癌治療学会総会学術講演会, 1998, 10, 福岡.

- 39) 津田 博, 道又 敏彦, 斎藤 滋: IVF-ET後に子宮内外同時妊娠(双胎妊娠と間質部妊娠)を来した1例. 第46回日本産婦人科学会北日本連合地方部会, 1998, 10, 山形.
- 40) 樋熊須晴, 藤村正樹, 日高隆雄, 長谷川 徹, 山川義寛, 斎藤 滋: 嚢胞状発育を呈し診断に苦慮した子宮癌肉腫の一例. 第46回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 1998, 10, 山形.
- 41) 柳楽清文, 日高隆雄, 堂下真樹子, 藤村正樹, 山川義寛, 斎藤 滋: 婦人科悪性腫瘍術後血栓症5例の臨床的検討. 第46回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 1998, 10, 山形.
- 42) 山岸直子, 酒井正利, 佐々木 泰, 種部恭子, 斎藤 滋: 当院に母体搬送された切迫早産例の予に関する検討. 第46回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 1998, 10, 山形.
- 43) 津田 恵, 高木紀美代, 副田善勝, 斎藤 滋: 妊娠中期の空腹時血糖値による分娩予後の検討. 第46回日本産科婦人科学会北日本連合地方部会, 1998, 10, 山形.
- 44) 種部恭子, 道又敏彦, 斎藤 滋: ストレス環境下における視床下部GnRH産生の制御へのIL-1 β , IL-2の関与. 第17回北陸合同内分泌・代謝談話会, 1998, 11, 金沢.
- 45) 伏木 弘, 寺畑信太郎, 田所 猛, 三井由紀子, 大橋美香, 山川義寛: 抗癌剤が著効した子宮頸部漿液性腺癌の一例. 第37回日本臨床細胞学会秋季大会, 1998, 11, 仙台.
- 46) 酒井正利, 佐々木 泰, 種部恭子, 斎藤 滋: 切迫早産症例における母体搬送時のTocolysis Indexと周産期予後に関する検討, 日本産科婦人科学会富山地方部会, 1998, 11, 富山.
- 47) 種部恭子, 斎藤 滋: 慢性環境ストレス下での視床下部GnRH産生の制御に対する神経免疫系の関与. 第13回日本生殖免疫学会, 1998, 12, 神戸.
- 48) 道又敏彦, 津田博, 種部恭子, 斎藤滋: 子宮内膜および妊娠初期脱落膜中のTh1, Th2, Th0細胞率の検討. 第13回日本生殖免疫学会, 1998, 12, 神戸.
- 49) 津田 博, 道又 敏彦, 種部 恭子, 斎藤 滋: 妊娠中毒症例末梢血における活性化およびサイトカイン産生についての検討. 第13回日本生殖免疫学会, 1998, 12, 神戸.

◆ その他

- 1) 長谷川 徹: 更年期を好年期に~更年期外来か

らみた中高年の体の変化とつきあい方~. 魚津市生涯を通じた女性の健康支援事業 女性のためのきらめきセミナー. 1998, 3, 魚津.

- 2) 長谷川 徹: 骨粗鬆症について. 下村骨粗鬆症検診結果報告会, 1998, 10, 下村.
- 3) 長谷川 徹: 思春期と骨密度. 高岡保健所思春期保健事業骨密度検診結果報告会, 1998, 11, 新湊.
- 4) 長谷川 徹: 骨粗鬆症への新たなアプローチNo. 20 運動習慣などがQUS指標に影響, Medical Tribune 1998, 6.
- 5) 酒井正利, 斎藤 滋: D&Cの方法ならびに注意点, 富山県産婦人科医会学術研修会, 1998, 9, 富山.
- 6) 藤村正樹: 中学生の性教育, 今大人に何ができるか? 大沢野中学校PTA会講演会, 1998, 7, 大沢野.
- 7) 藤村正樹: スライドセミナー. 第15回日本臨床細胞学会富山県支部総会, 1998, 1, 富山.
- 8) 藤村正樹: 最近の子宮がんのおはなし. 大門町婦人会講演会, 1998, 10, 大門町.